

松戸市民ギャラリーで今昔写真展、新京成も47点展示 走り終えたラッピング電車が話題を呼び

9月27日(金)から2週間、松戸駅の東西自由通路で

新京成電鉄（本社：鎌ヶ谷市くぬぎ山、社長：笠井孝悦）では、所有する今昔写真が、松戸市（庁舎：松戸市根本、市長：本郷谷健次）の写真展、「市内鉄道駅写真展」に併せて展示されることになりました。9月27日（金）から2週間、松戸駅の東西自由通路で展示されます。



今年4～5月に開催された写真展の様子（船橋市役所）



ラッピング電車内に掲載していた写真の一例
(昭和30年の松戸駅)

写真展は、同市が市制施行70周年を記念して開催するもので、鉄道駅を中心とした松戸市の今昔写真を展示、昭和20年代～現代の70年間を振り返ることができます。当社が所有する貴重な写真も併せて展示、同写真展を盛り上げていきます。

当社の写真は、昨年12月から約3カ月間運行していたラッピング電車、「今昔ギャラリートレイン」に掲出していたものを中心に47点展示します。同ラッピング電車は、当社開業65周年記念として運行し、お客さまから好評をいただいていた。その反響を受け、今年、沿線の市役所や商業施設などの各施設でも写真を展示していて、今回で4回目になります。

【写真展の概要】

- ◆名称 市制施行70周年記念 市内鉄道駅写真展
～懐かしき昭和の薫り～
- ◆開催日時 9月27日(金)～10月11日(金)
最終日は9:30まで
- ◆場所 市民ギャラリー（松戸駅東西自由通路）
- ◆お問い合わせ 松戸市役所 交通政策課 047-704-3996



今年3月19日に運行を終了した
ラッピング電車「今昔ギャラリートレイン」